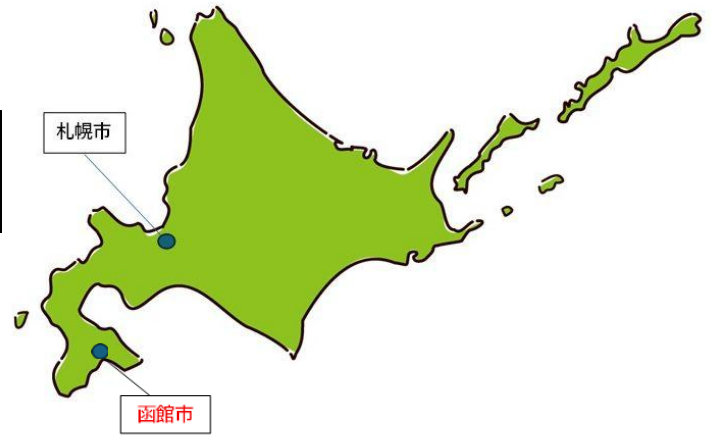


## 終わりになき図書館ジャーニー vol. 30



### 函館巡回記 (2/2)

#### ～平成の大合併当時と現在の読書環境～

平成の大合併からおよそ 20 年経過しますが、旧函館市の東部、南茅部町・椴法華(とどほっけ)村・恵山町・戸井町という4つの町村の図書施設はどのような施設だったのでしょうか？簡単にまとめてみました。2000(平成 12)年 8 月に発行した『北海道の図書館』という資料に基づきます。同年 4 月の統計です。

#### 南茅部町

人口は 7949 人、1972 年に建築された南茅部町民文庫公民館図書室に 23000 冊ほど所蔵していました。2024 年人口は 4200 人ほど。

#### 椴法華村

人口 1684 人、1980 年に建築された椴法華総合センターと図書室に 1942 冊所蔵していました。2024 年人口は 758 人です。

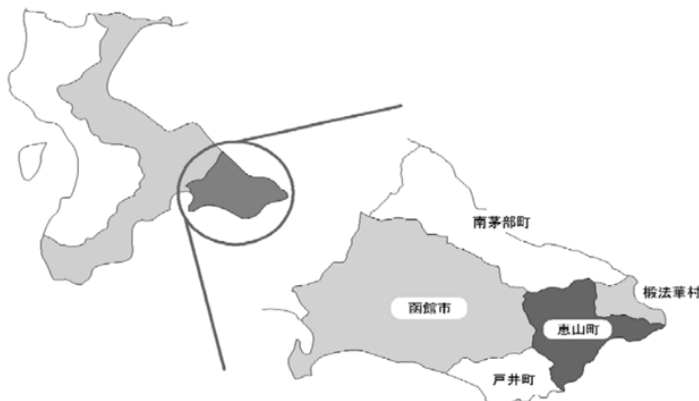
#### 恵山町

人口 4951 人、1981 年建築された恵山町立町民図書室に 4300 冊所蔵していました。2024 年の人口は 2367 人です。

#### 戸井町

人口 4075 人、1981 年建築された戸井町郷土館図書室 18157 冊所蔵していました。2024 年の人口は 2121 人です。

平均すると 46.7%人口が減少しています。ちなみにこの地域で 0 歳から 19 歳までに至っては 76.95%減少という驚くべき数字が函館市住民基本台帳からわかります。例えば椴法華村の 0 歳から 19 歳の 2024 年の人口は 61 人です。



2004 年(平成 16 年)12 月1日に  
亀田郡戸井町、恵山町、椴法華村、  
茅部郡南茅部町が函館市に編入  
合併する前の市町村区域図

では実際に4町村へ行ってみましょう。  
スケジュールの都合で日月移動だったのでとてもタイトでした。

#### 日曜日

函館駅 10:20 発のバスに乗り、11:40 南茅部支所前で下車しました。まずはいつものようにランチ！ランチはどこにするか事前に調べています。運転できないので、目的地の徒歩圏内という制限がつかます。まして日曜日なので開店している店も限られます。すると「ひでちゃん寿司」だけ唯一見つかりました。今までこのコラムではお店の名前は書かないようにしていましたが、今回は特別に書きます。「ひでちゃん寿司」なのにとんかつやカレーライス、ラーメンなどほとんどファミレスのようなメニュー。地方ではあるある。お寿司屋さんに入るとカレーの香りとか。オホーツクの常呂の寿司屋ではまさにシーフードカレーが売りでした。自分は酢飯食べたかったので並のにぎりを食べました。そして「ひでちゃん寿司」はお弁当も作ってくれるので、夕飯のお弁当も注文しました。コンビニ弁当より「ひでちゃん」だよなと入店した時から決めていました。なぜ夕飯を買ったのかと言うと宿泊する温泉宿が素泊まりしかやっていないからです。

南茅部公民館は南茅部総合センターへ名称が変わっていました。事前に連絡したところ日曜日はたまに開館している場合もあるというので期待したのですが休館。しかし2F 奥に図書室があること、そして入口に「芥川賞 朝比奈秋『サンショウウオの四十九日』」含め4タイトルが新刊案内ボードに掲示。しっかり確認できました。

バスで10分ほど函館に戻ったところの川汲(かっくみ)温泉へ。素泊まり1泊5千円。山の中にある小さな民宿です。

#### 月曜日

8:37 川汲温泉からバスに乗り、灯りのついている南茅部総合センターを車内から眺めながら9:08 榎法華支所へ。支所教育事務所に連絡取れていたなので案内してもらいました。壁に観音扉式の書架が4台と家庭用の書架が1台。ほとんど小説ばかりで図書コーナーという感じです。絵本は20冊ぐらい。新刊コーナーの貸出しは一人3冊まで。地域資料は中央図書館に移したそうです。

さて、次の恵山へ行くバスが廃止になってしまっており、向かうには今まできたルートをぐるっと函館まで戻り、恵山方面へ行くバスに乗るしか無いのです。かなりの交通費と1日では行けないので宿泊費もかかる。そこで伝家の宝刀タクシーを予約。榎法華から恵山コミュニティセンターへ。2600円20分。この周辺にはハイヤー会社がないので、函館市街地のタクシーを呼ぶしかなく、ここまで来てくれる会社を事前に探しておかないと行けません。

現在の恵山コミュニティセンターに図書室はありましたが、わずかに地域資料しか所蔵しておらず、一般書や児童書の所蔵なしでした。

少し歩いたところに食事処があるのも事前チェック。「うみまち食堂菜の花」で海鮮ラーメンも地魚フライ盛り合わせ定食も食べないでシンプルに炒飯を。最近旅先で腹痛が時々あるので、特にランチは気をつけないと行けないのです。

恵山から戸井へはバスで30分ほど。開館しているはずが連絡しておいたのに鍵もかかって

誰もいない。

ところでやはりお腹の調子が悪くなり、近所にあった調剤薬局が営業していたのでWCを借りて、戸井生涯学習センターに図書室について尋ねてみたところ、「図書室、あったっけ？」とスタッフ同士の会話。調べたところ図書の扱いがないのがわかりました。

4町村の読書環境自体は以上のような状況ですが、中央館から移動図書館「ともしび号」が月に1度、1地域2ヶ所へ巡回して貸出しや返却対応しています。以前より移動図書館の利用冊数が増えていると中央館スタッフが話していました。ネットで予約して中央館所蔵の本が借りられるわけです。返却は次の便の時に。

今回訪問したすべての施設の前に移動図書館がやってきます。どのような環境の施設を巡回しているのか。そして町並みの様子を知りたく訪問しました。

図書館云々ではなくお店もない、コンビニもなかなかない。民宿もわずか。歩いている人なんて全くというほどいない。クルマはたまに走っている程度。大きな病院へ行くには市街地まで行かないといけないでしょうし、買い物も必要最小限だけやっと買える感じです。

戸井生涯学習センター近くのバス停「浜町」14:39 からバスに乗り、湯倉神社で空港行きバスに乗り換えて到着したのは16:24。丘珠空港まで40分のプロペラ機によるフライトでした。

海岸線を走るバスで瀬田という地域から青森の大間町が見えます。ここが北海道と本州最短の地となります。

2025年6月訪問

加藤 重男